

令和6年度「つばくろロボキッズ教室」がスタート

－ 小中学生のプログラミング的思考力を伸ばします－

小学校で2020年から必修となったプログラミング教育で、より学習を深めたいと希望する児童を対象に、燕市では必修化に先駆けて2018年より「つばくろロボキッズ教室」を開講しました。7年目となる令和6年度は、中学生になっても続けたいという子どもたちの熱意にこたえ、対象を中学1年生まで拡充し、5月18日より活動を開始します。教室では、大学生が直接サポートしてくれます。より発展的な内容に挑戦したいと希望する児童生徒は、WRO大会*新潟県予選会へ挑戦する予定です。

【つばくろロボキッズ教室の概要】

教室の目的

ロボットがミッションに従った動きとなるよう、児童生徒がパソコン上でプログラミングを行い、その内容をロボットに送信します。ロボットが、ミッションどおりに動くか試行を繰り返しながら、プログラミング的思考を身に付けていきます。

1. 期 間：令和6年5月～8月、令和7年2月の土曜日
(4か月間) 全11回

2. 時 間：午前9:30～12:00

※大会試走会とWRO大会*の当日の大会参加者の参加時間は、上記時間と異なります。

3. 対 象：燕市内の小学3年生～中学1年生の希望者

4. 参加者：17人(中学生3人、小学生14人)

5. 会 場：市民交流センター、吉田産業会館 等
第1回は5月18日(土)

(会場：市民交流センター 多目的ホール)

6. 内 容：

- (1) ロボットに対するプログラミングの方法についての学習
- (2) 初歩的なミッションをこなすロボットのプログラムづくりと試行
- (3) ミッションを早く正確にこなすロボットのプログラミングについての競技

7. 指導者：長岡技術科学大学 ^{ゆかわたかし} 湯川高志教授 他

8. 教 材：LEGO マインドストーム EV3



*WRO大会とは…World Robot Olympiad大会の略で、NPO法人WRO Japanが主催する大会。自律型ロボットによる国際的なロボットコンテスト。

「子育てするなら燕市で」



には理由がある。

本件についてのお問い合わせ先
 教育委員会 学校教育課：岡田 川口
 電話：0256-77-8191(直通)